

2022 年度 理工学部 FD 活動報告

理工学部 2022 年度 FD 委員会委員 奥村康行

理工学部の 2022 年度に実施した FD 活動は以下の通りである。

1. 当初計画

- (1) FD 報告会の開催
学部教員全員を対象とする FD・自己点検報告会を開催する。
- (2) FD 講演会の開催
外部講師を招いて FD 講演会を開催する。コロナ対応の状況に応じて昨年のように学内での情報交換の場とすることもあり得る。
- (3) 教育活動の評価
教育活動の評価を行い、優れた授業を行うなど、学部の教育に貢献のあった教員を表彰する。
- (4) 「学生による授業評価」の実施結果の分析
2017 年度から開始した、授業評価アンケートの理工学部独自の設問の回答について、全学共通の設問の回答と合わせて分析を行う。
- (5) 教員相互の授業参観の促進

2. 2022 年度活動内容

- (1) 今年度は FD 自己点検報告会を不開催とした。理由は、(2)FD 講演会の質疑において上智大学の授業評価と本学のそれとを比較しつつ議論したためである。
- (2) FD 講演会
第一回 2022 年 6 月 8 日 参加者 34 名
(株)リクルートから講師を招き、Zoom によるオンラインで開催した。昨年度に引き続き、学部の教育研究の方針を踏まえて、それをどのように高校側に伝えるべきかといったことを議論した。
第二回 2022 年 12 月 21 日 参加者 28 名
上智大学教学担当副学長の伊呂原隆教授をお招きし、上智大学において初めて全学レベルで実施された授業評価についての講演をいただいた。
- (3) 教育業績の表彰は、「理工学基礎演習」オンライン授業の際の実験動画作成を評価して藤井教授を対象とした。
- (4) 全学「学生による授業評価」(Q1～Q4)については、(2)第二回 FD 講演会にて上智

大学の授業評価との比較を議論し、いくつかの示唆を得た。たとえば、上智大学では回答率を上げるために学内の目立つ場所にポスター掲示を行い授業評価への関心を高めたとのことである。また、評価結果に関する分析は統計学の専門家が行っているそうである。

(5) 相互授業参観促進方法の提案には至らなかった。

3. 2022 年度活動の成果

第一回 FD 講演会では、外部講師を迎えて、理工学部受験の状況を確認し、昨年度の広報戦略の振り返りを行なった。理工学部を売り込むターゲット層やどのような点を説明すべきか、また、学部教員はそのために何をすべきかなどがより明確になり、学部としての意思統一が行った。第二回 FD 講演会では、上智大学教学担当副学長の伊呂原隆教授をお招きし、上智大学において初めて全学レベルで実施された授業評価についての講演をいただいた。本学の授業評価との比較を議論し、いくつかの示唆を得た。

授業相互参観については、オンライン授業も多いこともあり、推進には至らなかった。引き続き検討が必要である。